



2023.7.6 DX記者説明会 富士フイルムグループ DXの取り組みのご紹介

2023年7月6日

富士フイルムホールディングス株式会社

ICT戦略部

**NEVER
STOP**

FUJIFILM
Value from Innovation

本日の登壇者

1

富士フイルムホールディングス株式会社
執行役員・CDO ICT戦略部長

杉本 征剛



2

富士フイルム株式会社
執行役員・メディカルシステム開発センター長
富士フイルムホールディングス株式会社
ICT戦略部次長

鍋田 敏之



1 | 富士フィルムグループのDX

2 | デジタルプラットフォーム戦略

- デジタルトラストプラットフォーム全体像
- 受診者個人による医療データの利活用を実現するプラットフォーム構築
- ブロックチェーン技術を活用したサプライヤー連携DXによる在庫最適化
- 独自のチャットボットAIプラットフォームによるCX・EX向上

3 | 事業変革への取り組み

- 事業のITサービス化の加速
- 事例：医師主導のAI技術開発を支援する「SYNAPSE Creative Space」
- 事例：企業のマーケティング活動を支援する「INSTAX Biz」

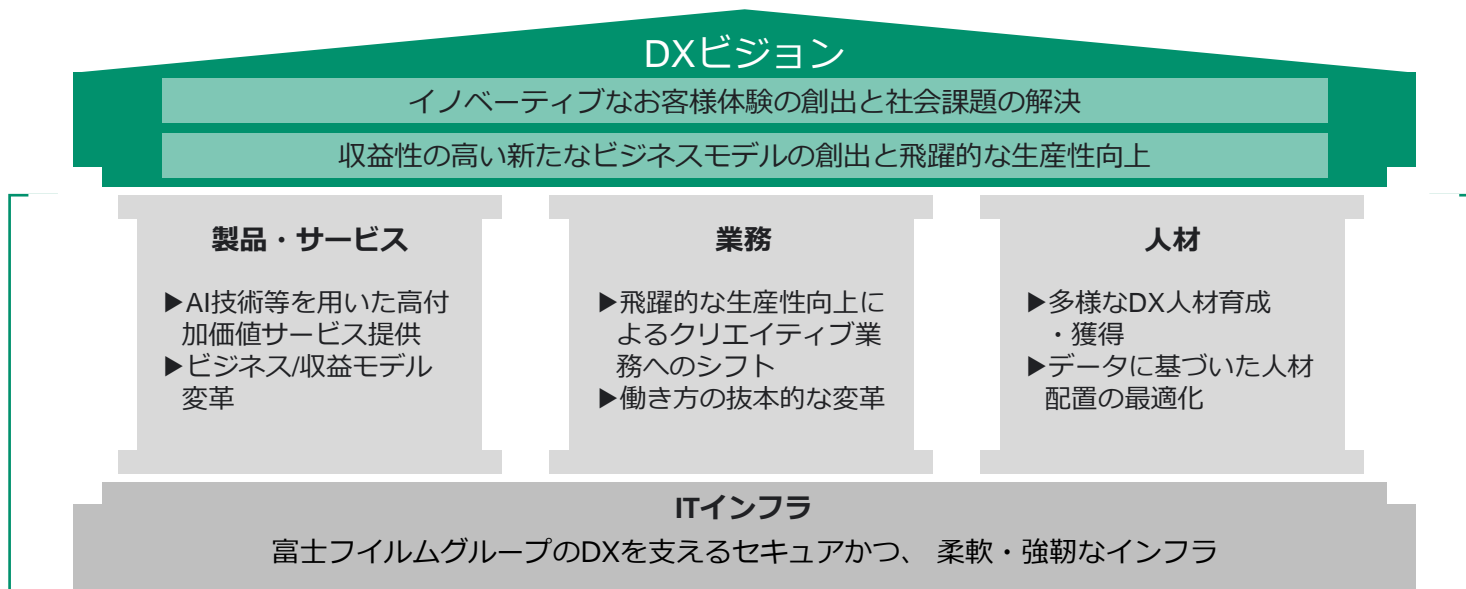


1. 富士フイルムグループのDX

富士フィルムグループの「DXビジョン」

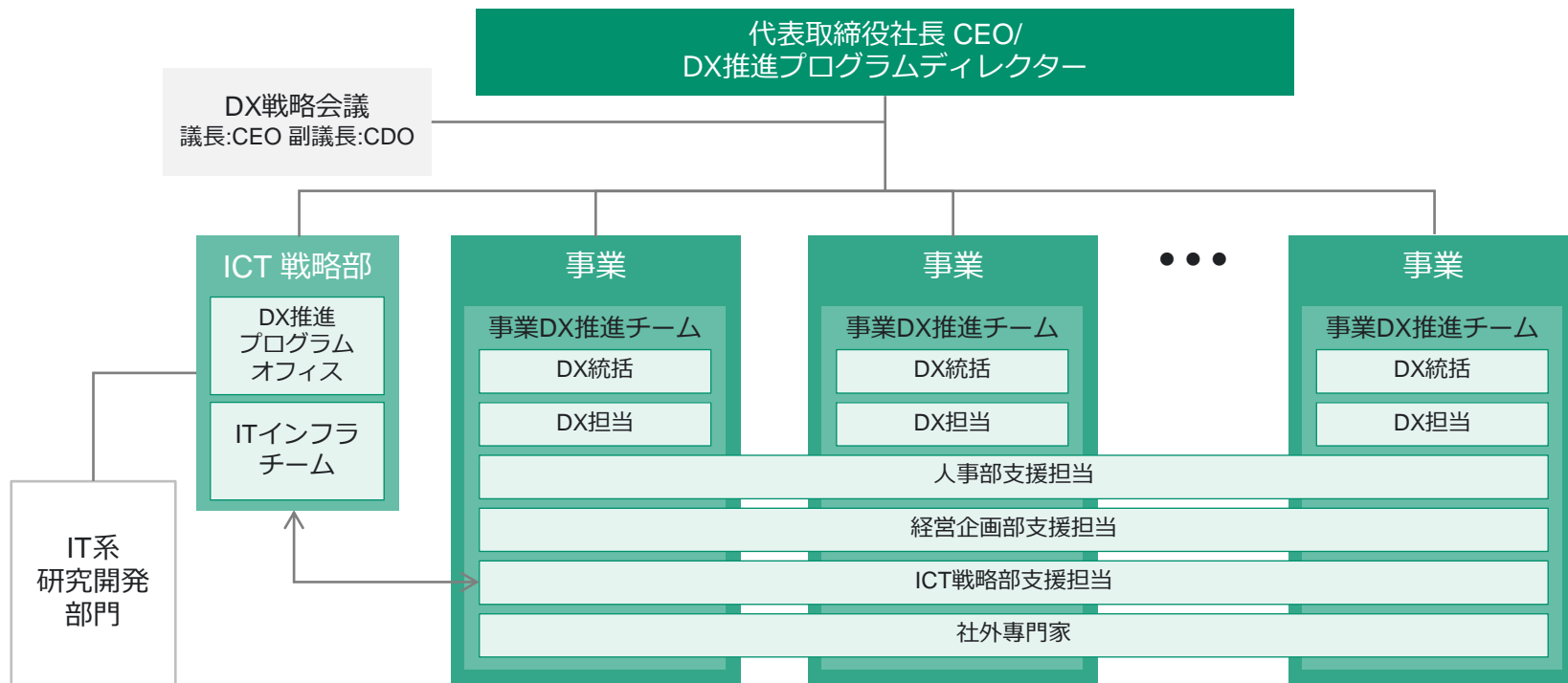
わたしたちは、デジタルを活用することで、一人一人が飛躍的に生産性を高め、そこから生み出される優れた製品・サービスを通じて、イノベーティブなお客さま体験の創出と社会課題の解決に貢献し続けます。

DX基盤



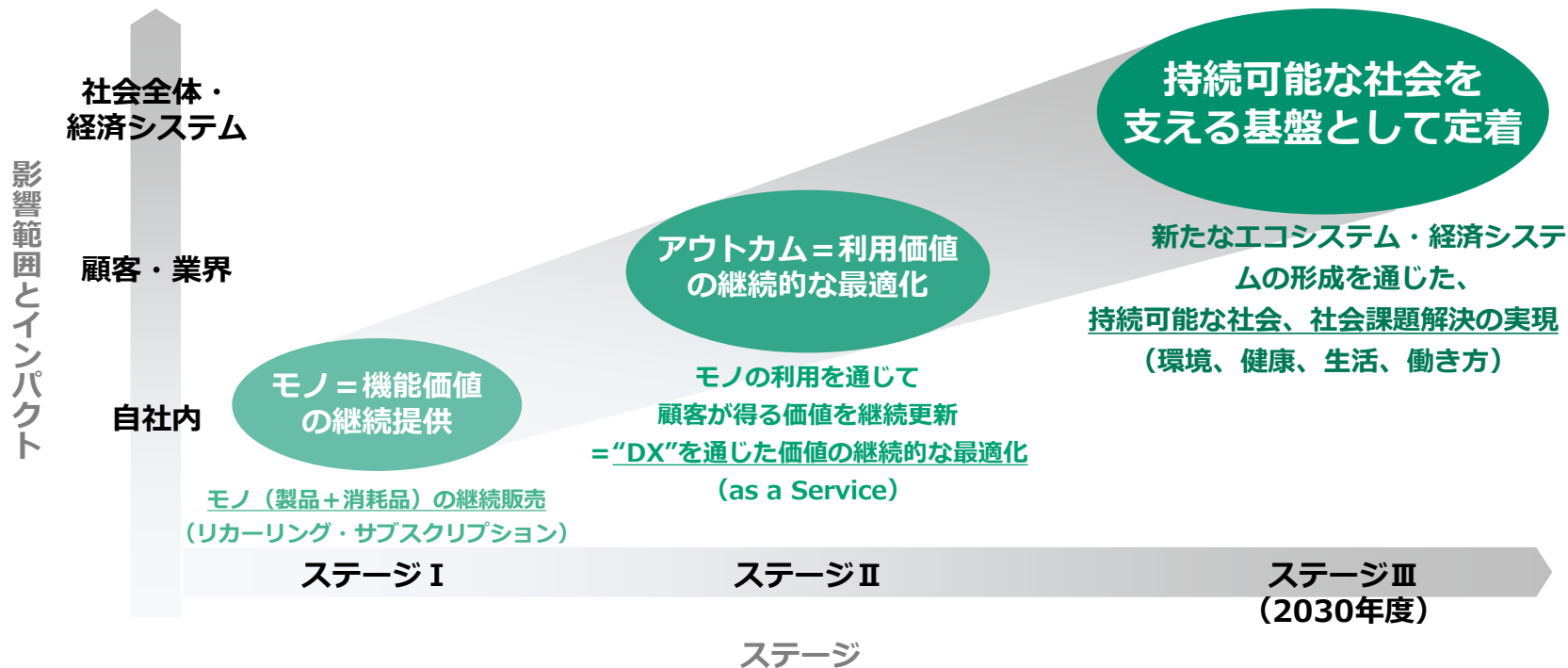
DX推進体制（All-Fujifilm DX推進プログラム）

DX推進の最高意思決定機関として、CEOを議長とする「DX戦略会議」を設置
CEOをディレクターとしたグループ横断体制で「All-Fujifilm DX推進プログラム」を展開



DXロードマップ

グループ全体でDXを推進するための共通指針として「DXロードマップ」を策定
持続可能な社会を支える基盤として、より多くの製品・サービスを定着させることを目標とする

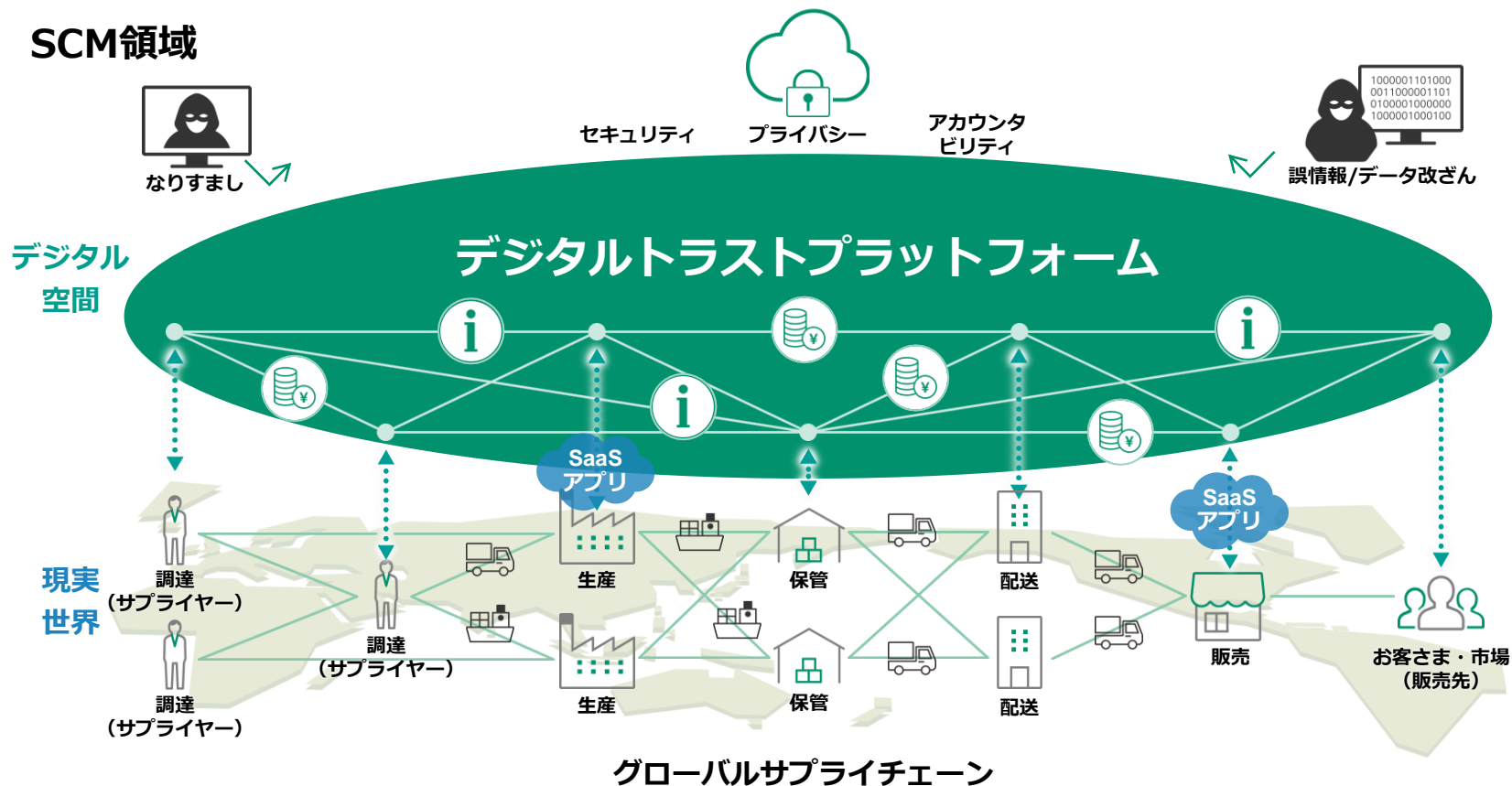


2. デジタルプラットフォーム戦略

- ー デジタルトラストプラットフォーム（DTPF : Digital Trust Platform）全体像
- ー 受診者個人による医療データの利活用を実現するプラットフォーム構築
- ー ブロックチェーン技術を活用したサプライヤー連携DXによる在庫最適化
- ー チャットボットAIプラットフォームによるCX・EX向上

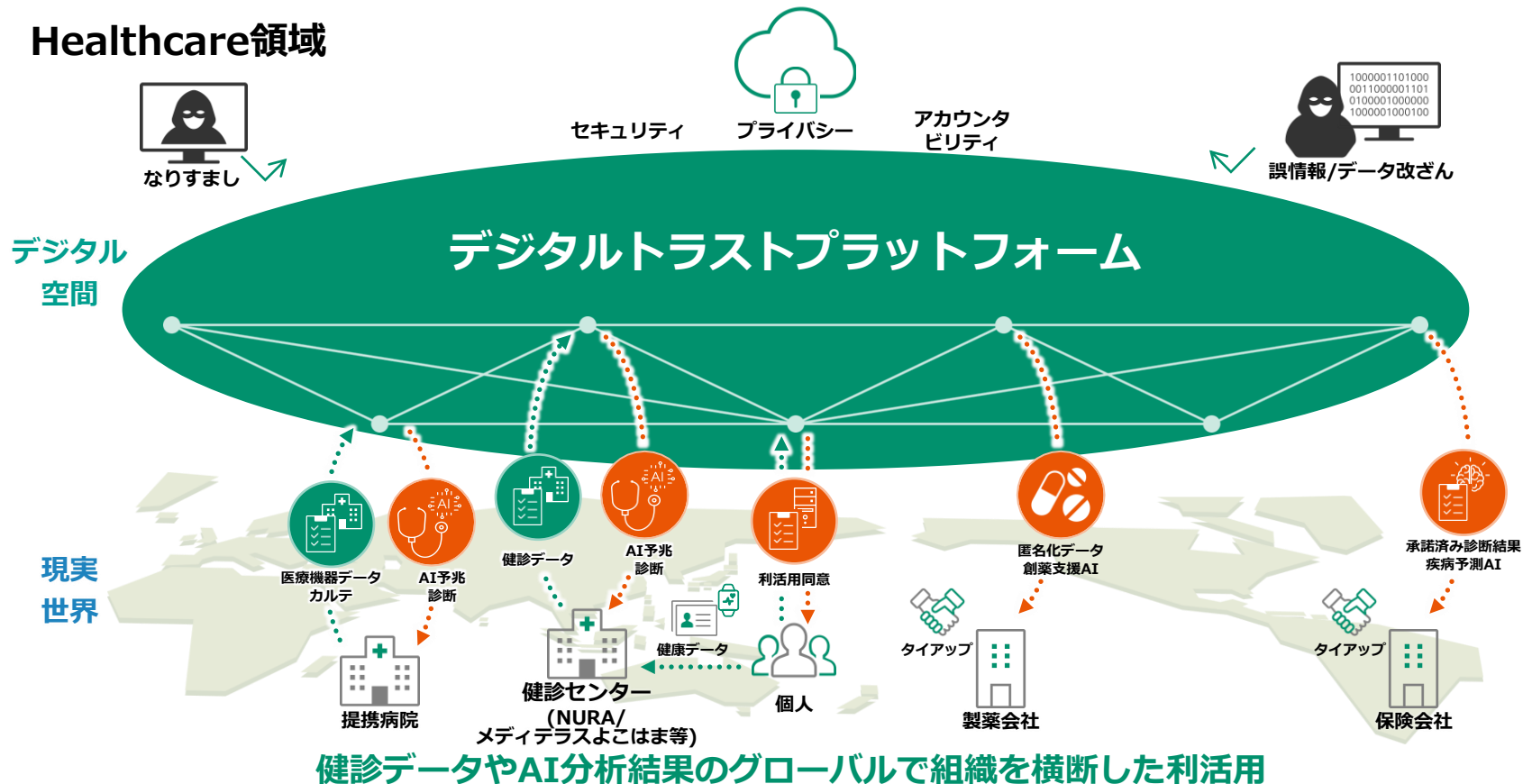
Trustedなデジタルツインを実現するデジタルトラストプラットフォーム

SCM領域



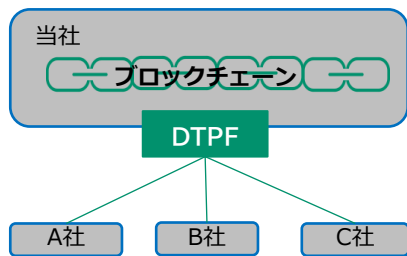
Trustedなデジタルツインを実現するデジタルトラストプラットフォーム

Healthcare領域

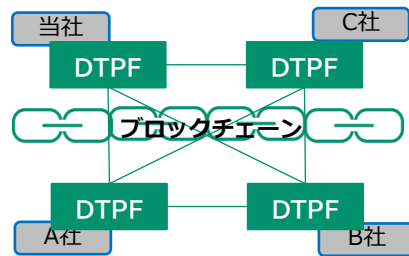


デジタルトラストプラットフォームの技術ロードマップ

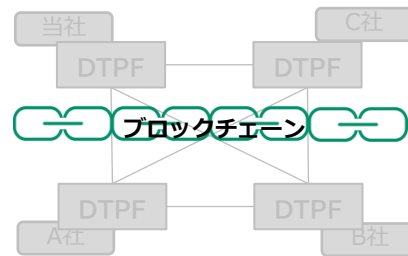
	現在	23年度~	24年度~	25年度~
実現内容	<p>単一DTPF による共有基盤の実現</p> <p>ヒト</p>	<p>複数DTPF連携による 分散型システムへの拡大</p> <p>ヒト</p>	<p>ヒトが入力するデータから モノから発生する IoTデータへの対象拡大</p> <p>モノ</p>	<p>データ管理から 契約・決済への展開</p> <p>カネ</p>
実施内容	<p>トラストの価値検証</p>	<p>データ主権者によるIDやデータ 開示範囲の管理・検証</p>	<p>IoT機器連携検証</p>	<p>契約・支払業務への対応</p>



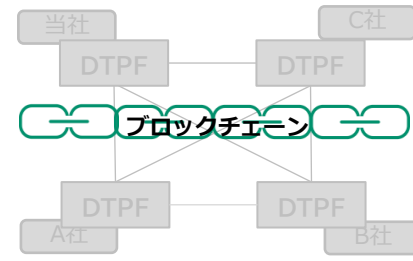
個社サービス型PF



分散型PF



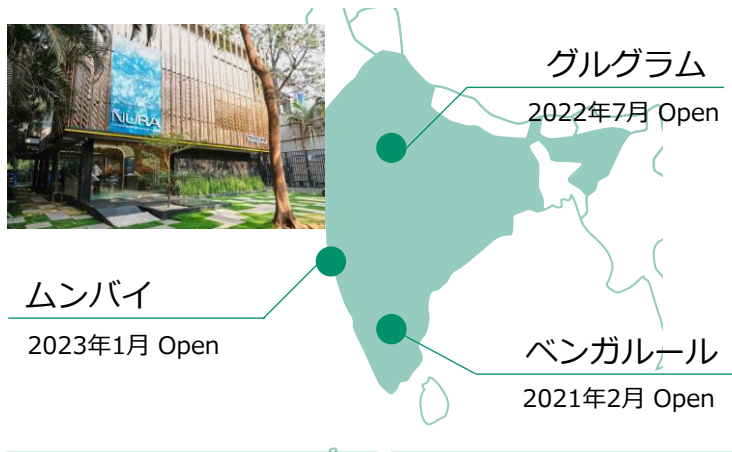
医療機器等からの
トラストなデータ管理



支払い管理

健診センター「NURA」によるがん・生活習慣病の早期発見

「NURA」展開状況



累計受診者数
2023年6月末時点
約10,000人

目標拠点数
2030年度
100拠点

「NURA」健診データ活用に向けて

- 経済産業省「アジアDX促進事業」に採択
- 経済産業省「インド太平洋地域サプライチェーン強靱化事業」に採択。セキュアな環境下で受診者の同意を得た、匿名化された健診データを活用する仕組みを実証

健診サービス定着のために

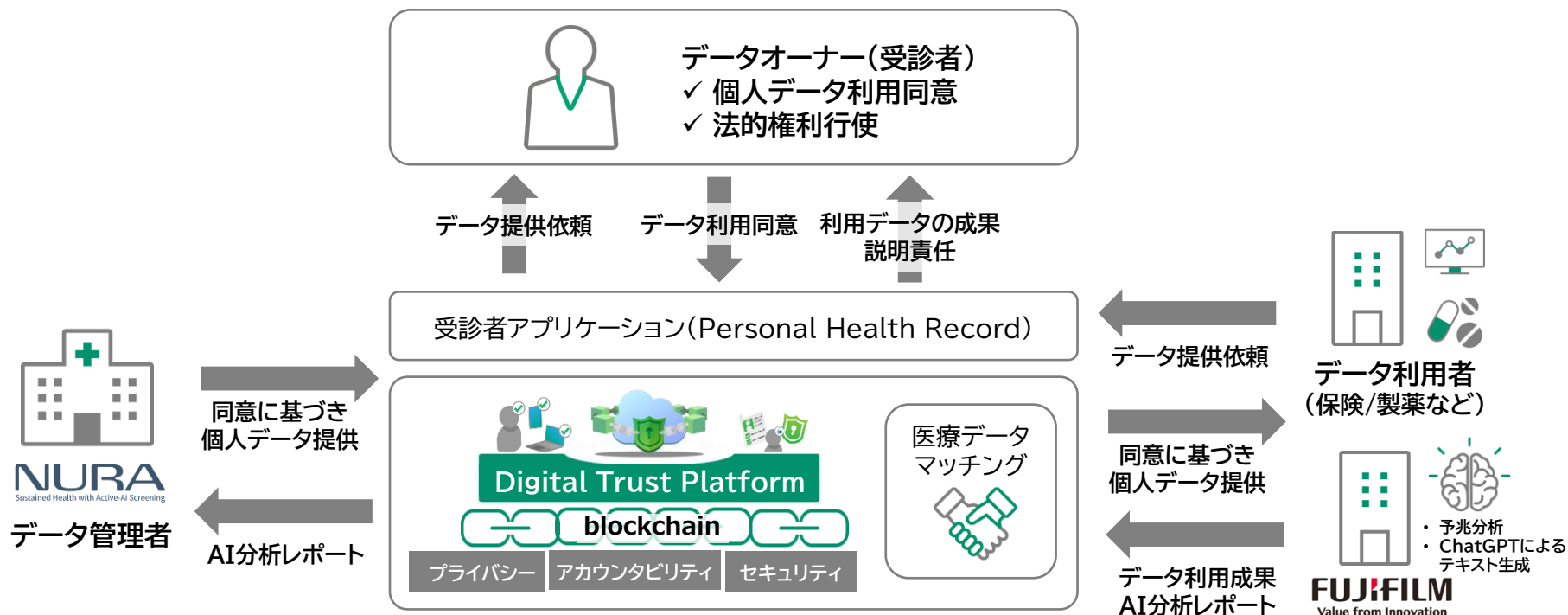
新興国で健診を根付かせるためには、健診拠点の拡大と合わせて、健診によって得られたデータを有効活用※できる仕組みを確立することが重要

※健診データを分析して、疾病リスクを予測し、生活習慣改善への働きかけを行う等

2030年度までに健診サービス事業をグローバルで200億円規模に成長させる

受診者個人による医療データの利活用を実現するプラットフォーム構築

これまで医療機関などが管理していた医療データを「個人がその価値を認識し利活用できるデータ」に転換
「自身の医療データの資産化」の実現を目指す

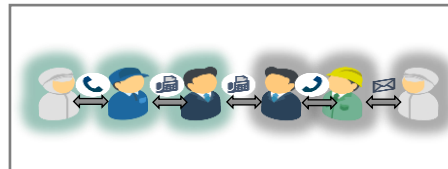


サプライヤー連携DXによる在庫最適化

ブロックチェーン技術により会社間取引の信頼を担保、セキュアな環境で「生産計画」をサプライヤーに開示
サプライヤーから「生産能力や素材調達状況」の開示、「確度の高い納期回答」を受領

川上から川下までのSCMの全体改革の中で、安定調達や余剰在庫削減など「在庫最適化」が期待効果

問題：DX前

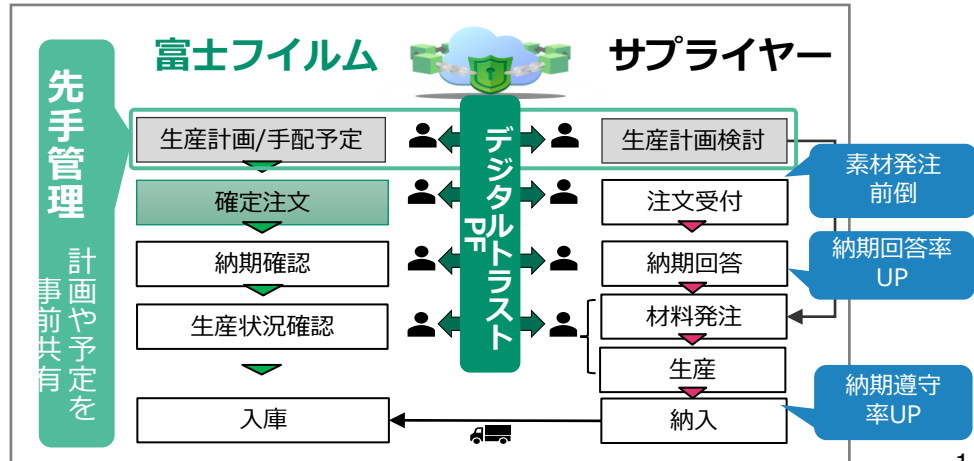
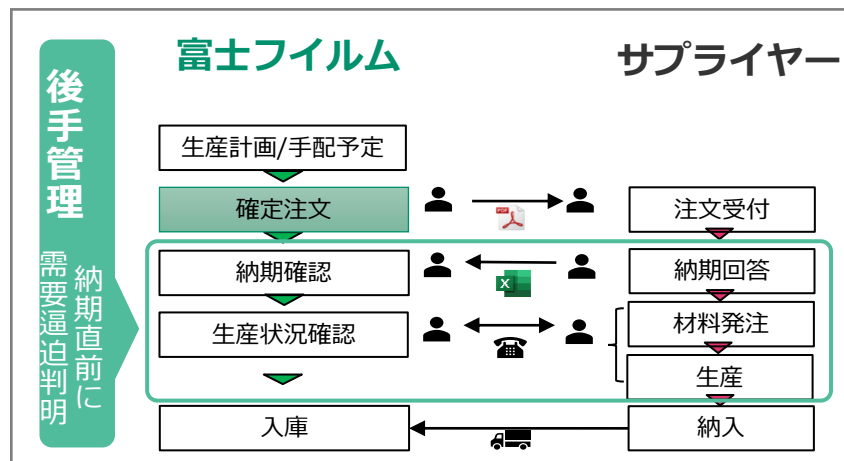


バケツリレー(メール/電話/FAX)による不効率・不確実な情報のやりとり

解決策：DX後



当事者同士直接のやりとりによる迅速・信頼できる情報のやりとり



サプライヤー連携DX進捗と展開

進捗概要

- **現在検証最終段階、23年度中の実運用開始を目指す**



効果

- セキュアな環境で「生産計画」をサプライヤーに開示し、双方で先手管理を実現することでプロアクティブな活動を創出し、**「確度の高い納期回答」を実現**
検証期間では、**ほぼ100%の納期回答率を確認**
- 「安全・正確・迅速」な情報共有によって発注の確度が向上、**サプライヤ数社からリードタイムを最大40%短縮可能との回答を得て、在庫最適化への見込みを確認**

展開

- **幅広い品目・サプライヤへ拡大し効果を最大化する**
- イメージング事業を皮切りに、**他事業の調達業務でも活用を検討**

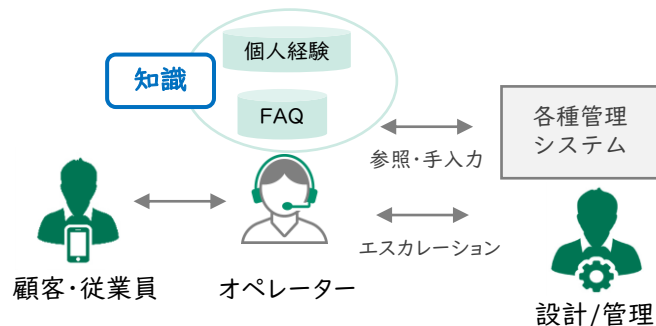
富士フイルム独自のAIチャットボットプラットフォームによるCX・EX向上

独自*のAIチャットボットプラットフォームを活用し、問い合わせ業務の自動化、業務知識の体系化と一元管理を実現、社内購買手続、カスタマーサポート(デジカメ)、医療機器保守対応において導入済み

*既製品で補えない専門性の高い業務（機器保守など）に対応するため、ノウハウ・情報を利活用可能な独自のAIチャットボットを開発

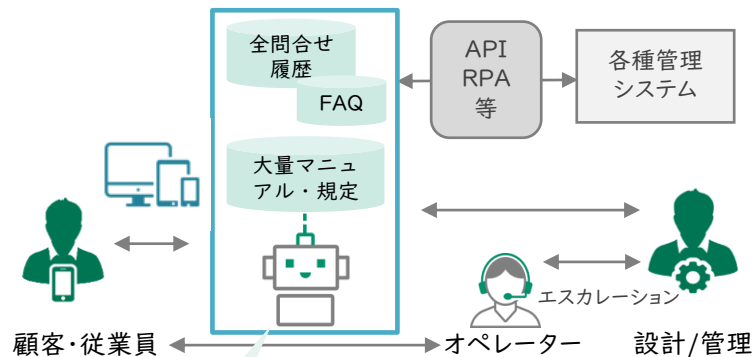
問題：DX前

- ・ 問合せ業務は「人」による対応。待ち時間が発生。
- ・ 業務対応者の知識にばらつきがある。
- ・ 専門性高い業務においては解決率が低い。
- ・ 各種システムの情報を手動で検索・記入。



解決策：DX後

- ・ 人とAIの共創。365日・24時間対応 → コスト削減、CX向上
- ・ 業務知識体系化、サービス均一化を実現 → EX向上、CX向上
- ・ 大量のマニュアルと問い合わせ履歴を学習し、専門性高い業務の対応可能 → 解決率向上、CX向上
- ・ 各種システムとの連携による自動化 → 業務効率化、EX向上



技術開発の加速・効果最大化に向けた環境

生成型AI搭載のモデル(例：GPT3.5)などCDO承認の下、最新技術を積極的にトライアル活用し進化を加速

デジタルトラストプラットフォーム全体像

→ 多種多様な個人、企業のデータをデジタルツインで最適化

受診者個人による医療データの利活用を実現するプラットフォーム構築

→ 「自身の医療データの資産化」の実現を目指す

ブロックチェーン技術を活用したサプライヤー連携DXによる在庫最適化

→ サプライチェーン全体改革の中で、在庫を最適化

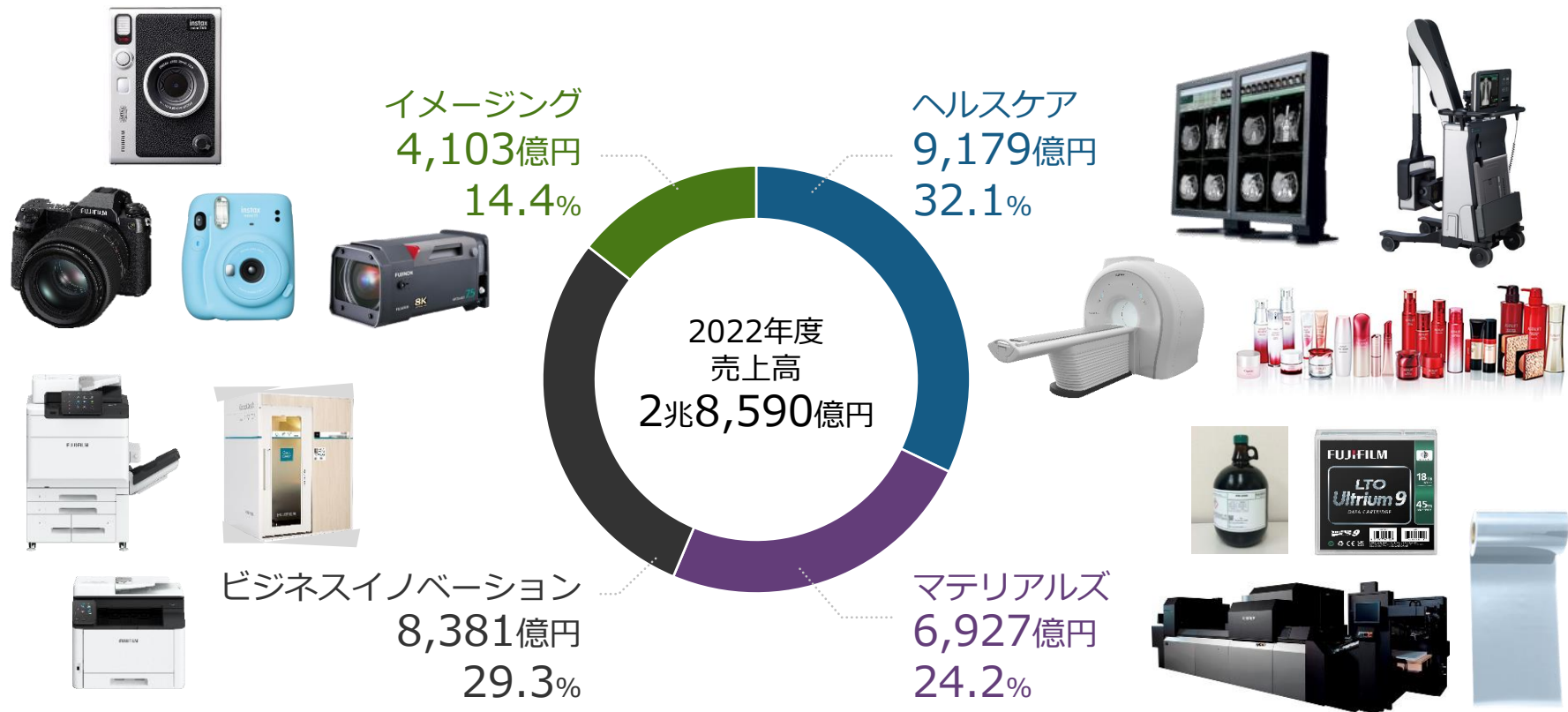
チャットボットAIプラットフォームによるCX・EX向上

→ 問合せ業務自動化、業務知識の体系化と一元管理でCX・EX向上

3. 事業変革への取り組み

- 事業のITサービス化の加速
- 事例：医師主導のAI技術開発を支援する「SYNAPSE Creative Space」
- 事例：企業のマーケティング活動を支援する「INSTAX Biz」

富士フィルムの事業ポートフォリオ



事業のITサービス化の加速

既存事業の「技術力+製品」に「IT」を組み合わせてITサービス化を加速、新しい価値を創出



医師主導のAI技術開発を支援する「SYNAPSE Creative Space」※22年β版提供開始、23年度中正式サービスイン予定

プログラミングなど高度な工学的知識がなくても画像診断支援AI技術開発の一連のプロセスを実行可能
医療AI技術開発の民主化および、産学がwin-winとなる開発～社会実装のエコシステムを目指す

【4つの機能】

①プロジェクト管理

ダッシュボードによりアノテーションの進捗やAIの学習状況が一目でわかる



②アノテーションツール

マニュアル不要の操作感、効率的かつ直観的に閲覧やアノテーションが可能



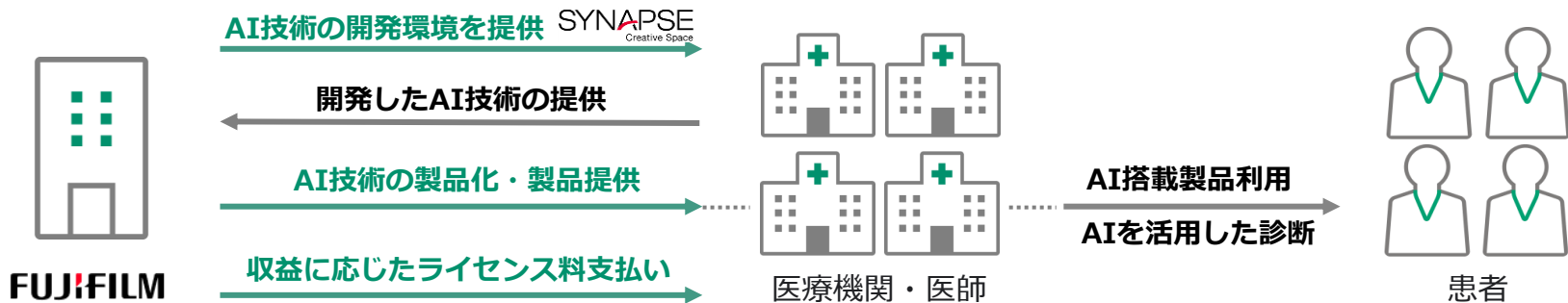
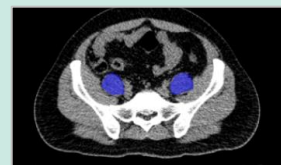
③学習プラットフォーム

学習エンジンを使用してAIモデル作成を簡単に扱えるよう機械学習をツール化、AI開発に必要な情報を一元管理



④AI実行

学習プラットフォームが生成するAIを柔軟に処理、実行



SYNAPSE Creative Space β版の導入状況

2022年4月よりβ版の提供を開始、わずか約1年間で、総導入数30サイトへの導入が実現
 J-MIDの次世代クラウド管理基盤にも採用され、2023年4月より稼働開始

【導入状況】

✓ 2022/4~β版提供開始、総導入数：**30サイト**

✓ 2023/4~ **J-MID**での採用・稼働開始

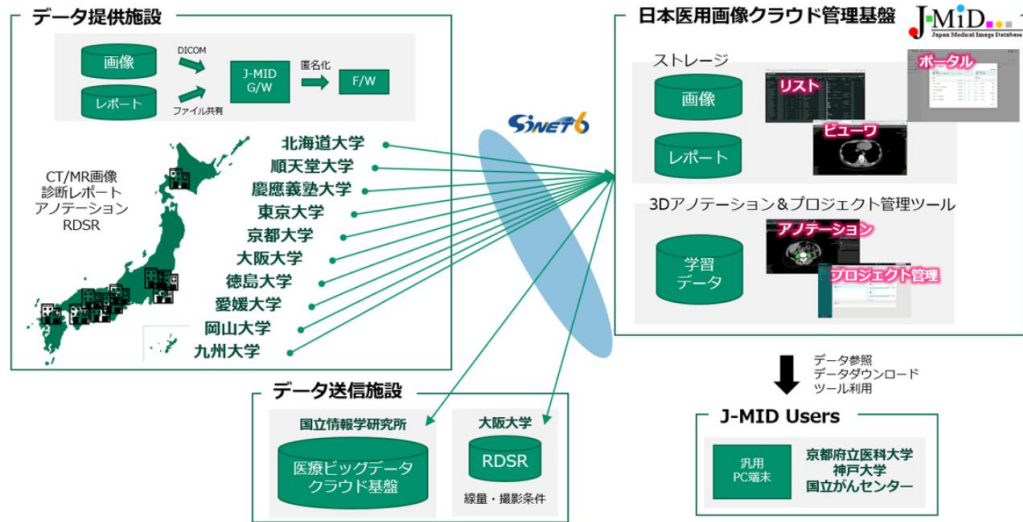
・日本放射線学会が稼働させた、国内の医療機関で撮影された医用画像を集約し一元管理するデータベース「日本医用画像データベース (J-MID)」の次世代クラウド管理基盤として採用された

・当社のJ-MID参画意義

✓大規模・多施設データのデータベースによる**希少疾患を含む多数のAI研究の創出に寄与、AIの製品搭載による社会実装**

✓J-MIDに携わる**様々なステークホルダーとのイノベーションの加速**

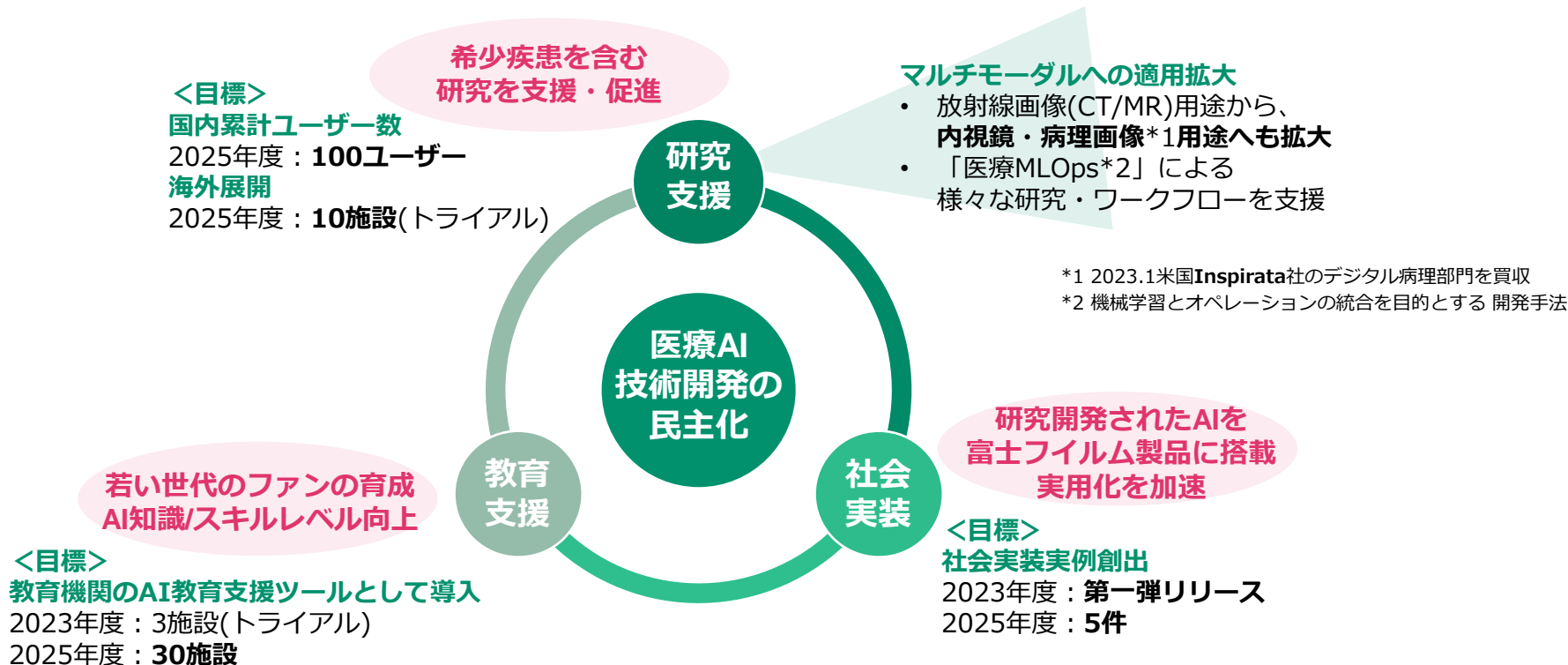
SYNAPSE Creative Space
 による機能提供



J-MIDシステム構成図

医療AI技術開発の民主化に向けた今後の展開

SYNAPSE Creative Spaceを通じて、医療AI技術開発の民主化、AIの社会実装を加速させる教育用途や、内視鏡・病理画像への対象拡大を行い、更なるビジネス展開を目指す



INSTAX Bizとは

お客さまとイベント主催者をつなぐ、オリジナルINSTAX“チェキ”の撮影プリントアプリ



- ✓ アプリとプリンターをBluetoothで接続、オリジナルデザインのフレームで撮影・プリント
- ✓ イベントの現場で簡単に特別感のあるチェキプリントをお客さまへご提供いただけます

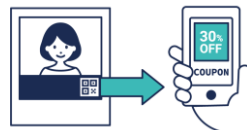
INSTAX Bizが選ばれる理由

1. 特別な記念品として



- ・オリジナルフレームのチェキプリントはイベント限定の特別な記念品
- ・お客さまの手元に残り、飾っていただきやすく、高い広告宣伝効果に
- ・SNSでのお客さま発信の情報拡散も期待

2. QRコードでデジタルコンテンツに誘導

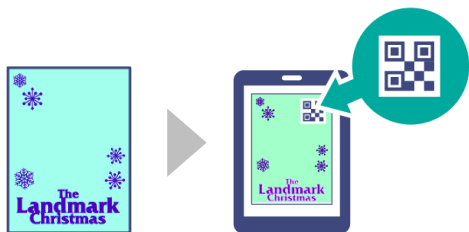


- ・チェキにプリントされたQRコードからお客さまにデジタルコンテンツをご提供可能
- ・企業のWebサイト、動画、SNS、会員登録、アンケート等に誘導可能
- ・お客さまと企業の深い関係構築に貢献

INSTAX Biz ご利用の流れ

企業はINSTAXのフィルム・プリンタの購入、無料アプリのダウンロードのみで、利用開始可能

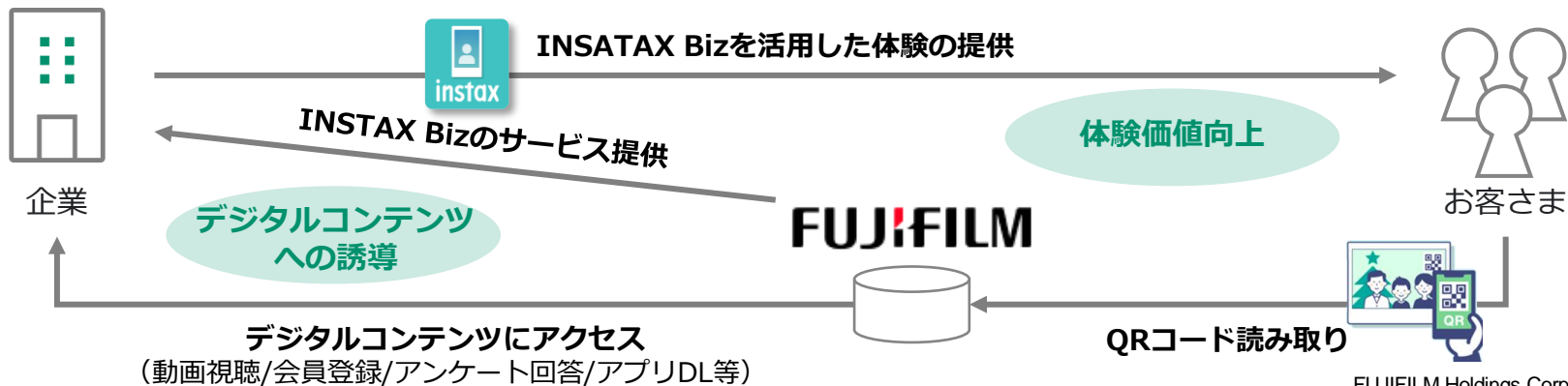
1 | アプリにテンプレートを登録
→QRコードを設定



2 | スマホで撮影
→テンプレートを合成



3 | プリント
→QRコード付きプリント



INSTAX Bizの提供価値

ノベルティ(リアル)とマーケティングツール(デジタル)の役割を併せ持ち、企業-お客さま間の深い関係性を構築



INSTAX Biz 導入事例

様々な分野で、企業とお客さま間の深い関係性構築をサポート、エンゲージメントを高める指標において、非常に高い効果を発揮

イベント概要

効果

【ショッピングモール】
三菱地所
プロパティマネジメント
株式会社

ランドマークプラザのクリスマスツリー前で撮影会実施
QRコードからアプリの会員登録・アンケートを促し、施設内で使用できるデジタルクーポンを配布

・QRアクセス率：43%
・アプリDL+アンケート
回答率：20%以上



【スポーツ】
トヨタアルバルク東京
株式会社

バスケット選手の貴重な私服姿の写真入りオリジナルフレームを用いた2ショット撮影会
QRコードからアンケートに回答すると選手のメッセージ動画視聴が可能

・イベント満足度：97%



【テーマパーク】
株式会社
サンリオ
エンターテイメント

サンリオピューロランドのファン限定イベントでキャラクター入りオリジナルフレームを用いた撮影会実施
QRコードからアンケートに回答するとスマホ壁紙DLが可能

・アンケート回答率：100%



※1

事業のITサービス化の加速

→ 「技術+製品」に「IT」を組み合わせたITサービスで、新しい価値を創出

医師主導のAI技術開発を支援する「SYNAPSE Creative Space」

→ プログラミングなど専門知識不要でAI技術開発が可能、
医療AI技術開発の民主化、AIの社会実装を加速させる

企業のマーケティング活動を支援する「INSTAX Biz」

→ ノベルティ（リアル）とマーケティングツール（デジタル）で、
企業—お客さま間の深い関係性を構築

FUJIFILM
Value from Innovation